

2015年4月21日

体罰・暴力・暴言・威圧等の根絶について

国内事業本部

公益財団法人日本バレーボール協会（JVA）の目的（抜粋）

「わが国におけるバレーボール界を統括し代表する団体として、バレーボール競技の普及及び振興を図り、以って児童・青少年の健全な育成及び国民の心身の健全な発達に寄与し、または豊かな人間性を涵養すること」である。

「指導における倫理ガイドライン」の理念

スポーツは本来、楽しいものだ。バレーボールとビーチバレーまさにそうだ。選手が躍らせて試合をする。練習に生き生きと励む。少年・少女は練習と試合を通じて技術を高め、チームメイトとの絆を深め、フェアプレー精神を学び、成長する。青少年もそのようにして、心身のバランスのとれた大人となる。

指導者と選手はバレーボールを愛する者として、自らその品位を保ち、お互いに尊重し合わなければならない。各人がこのことを十分に理解することが、暴力・体罰行為など倫理に反する行為を防止する上で、最も重要である。

ひたむきに競技に励む選手は周囲に共感を呼び、学校やコミュニティーに笑顔の輪を広げる。スポーツ文化はそうにして、はぐくまれる。バレーボールとビーチバレーが明るく創造的な環境で親しまれるべきだ。卑屈で陰湿な暴力行為やセクシャルハラスメント（セクハラ）は、自由で伸びやかな自己表現であるスポーツと対極に位置するものであり、バレーボールとビーチバレーに入りこむ余地があってはならない。

指導者と選手はバレーボールとビーチバレーを愛する者として、自らその品位を保ち、互いに尊重し合わなければならない。各人がこのことを十分に理解することが、暴力行為やセクハラなどの倫理に反する行為を防止する上で、最も重要である。社会全体が暴力とセクハラ等の根絶に取り組む中、バレーボールとビーチバレーの指導においても、こうした動きと同調する努力が求められる。

上記の目的・理念のためために、バレーボール界から暴力、体罰、暴言、威圧等の根絶を強力に推進していかねばなりません。